

事業所名

児童発達支援 もりのこ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

26日

法人（事業所）理念		子どもの未来につながる逞しい根っこづくり					
支援方針		家庭的な雰囲気の中で育む「生きる力」 ・自然の中での遊びを通した「健康的な身体と思いやりの心」を育てる ・友人関係やルールの中で「社会性と自立心」を育てる ・感動する体験から生まれる「豊かな感性と創造力」					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・服の着脱や排泄、箸やスプーンの使い方、片付けなど日常生活において必要なトレーニングを行なう。 ・見通しをもって生活ができるよう、時計やタイマーを使用し時間の感覚をつかむトレーニングを行なう。 ・健康維持が自らできるよう、食育や早寝早起きの推進などを通して生活習慣の向上を目指す。					
	運動・感覚	・作業療法士による専門療育（スイングやトランポリンなどの感覚統合器具を使用）を通し、体幹やバランス感覚の向上を目指す。 ・保育士によるリトミックを通し、運動能力や身体のコントロール力を育む。 ・粘土やフィンガーペインティング、楽器等を通し、五感を使った感覚遊びを提供する。					
	認知・行動	・畑での野菜づくりや流しそうめんなど、自らの経験を通して興味関心や認知能力を育む。 ・絵カードやパズルなどを用いて、物の名前、色、形、大きさ、重さ、数などの理解を促す。 ・ルールのある遊びを通し、必要な行動を理解する力を育む。					
	言語 コミュニケーション	・友だちや職員との関わりの中で、言葉の理解や多様性の認め方、自らを表現する力を育みます。 ・保育士による絵本の読み聞かせを通し、言葉を学ぶ機会を設ける。 ・太鼓やキーボードなどの楽器を用い、非言語コミュニケーションを図る機会を設ける。					
	人間関係 社会性	・施設外での活動（散歩や電車でお出かけ等）を通し、経験をしながら社会性を学ぶ機会を設ける。 ・集団生活で友だちや職員と関わる楽しさやルールの必要性を知り、他人と共に生きる力を育みます。 ・気持ちのコントロールや折り合いの付け方のトレーニングを行なう。					
家族支援		年4回程度、保護者の方が参加できる会を設け、子どもたちだけでなく、家族間でも情報共有や悩み相談などできる機会を作る。また、保護者の困り事の相談やアドバイスも施設側から行なう。			移行支援	保育園及び小・中学校のステップアップに備えてスムーズに適切な支援が受けられるよう移行支援を行なう。	
地域支援・地域連携		保育園、幼稚園、小学校、中学校を訪問し、活動の様子を見て情報共有やアドバイスをしない、連携を取っていく。			職員の質の向上	月1回職員会議及び職員研修を行ない、質の向上につなげる。また、年に1～2回程度、外部講師を招き、虐待防止・身体拘束等の適正化に関する研修、救命講習等を行なう。	
主な行事等		いちご狩り、交通安全教室、クッキング、デイキャンプ、夏祭り会、スイカ割り、流しそうめん会、スポーツ大会、みそ作り、サツマイモ掘り、みかん狩り、親子バス遠足、クリスマス会、もちつき会、豆まき、ひな祭り会、消防署見学					